

# 静岡大学大学院 グローバル共創科学研究科(仮称) 入試説明会

2026年4月23日(木)

静岡大学 学部4年生向け資料

# 構想の概要

1. 名称 : **グローバル共創科学研究科グローバル共創科学専攻 (仮称)**
2. 形態 : **単独研究科**
3. 開設年度 : **令和9年4月**
4. 課程 : **修士課程 入学定員12名**
5. 学位 : **修士 (共創科学)**
6. 学生納付金 : **①授業料 : 年間で535,800円、②入学料 : 282,000円**
7. 研究科設置の目的 :

本研究科は、地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、社会的課題が多様化・複雑化する現代社会の状況を踏まえ、高いレベルの専門性と社会に対する深い洞察を基礎として、グローバルな視野のもと多様な関係者との研究を自ら実施することにより、「総合知」が生まれるプロセスを主導し、持続可能な社会の実現に貢献できる高度な共創型人材の育成を目指す。

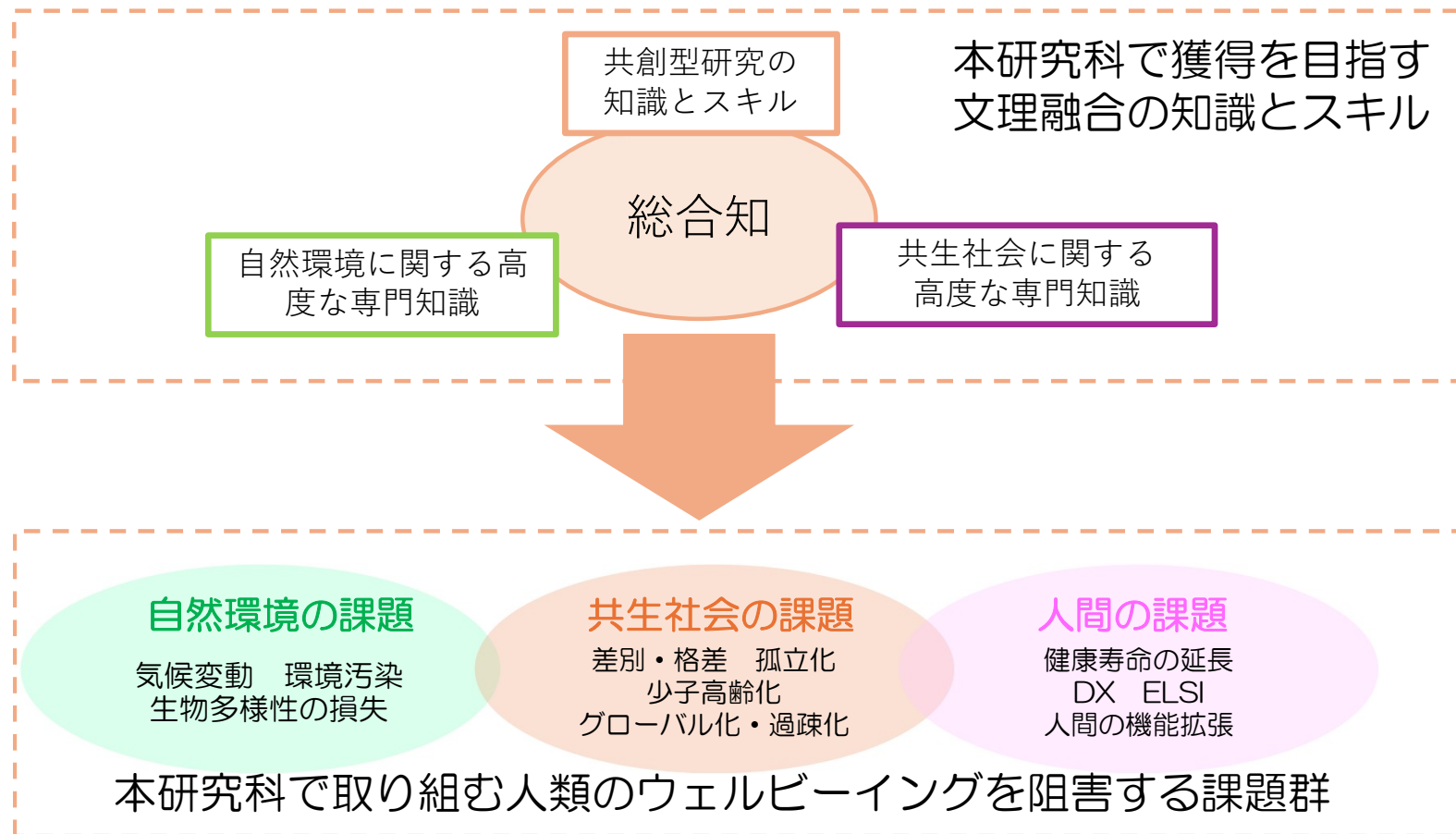
8. 教育課程の特色 :

- **共創科学基礎科目により、共創を推進するための基礎的な知識・スキルを修得**
- **専攻は2領域制 (共生社会創造領域と自然環境創造領域) で高度な専門を学べる構成**
- **総合知創出科目により、高度な共創型研究に必要な知識・スキルを修得**

# 育成する人材像

## 人材育成の目標

現代社会とポストSDGsの未来社会で「**持続可能な一人ひとりの多様な幸せ（well-being）の達成**」に貢献できる新しい価値を持つ高度な総合知を共創型研究で創造でき、課題解決の場においてリーダーシップを発揮し主導できる高度な共創型人材の育成



# 修了後の進路

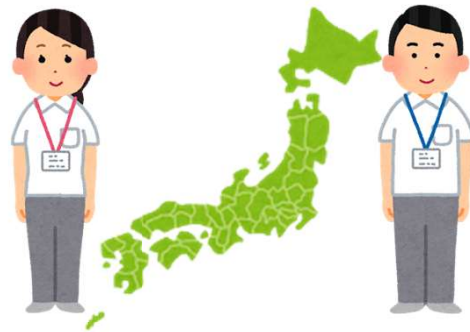
- ステークホルダーらと主体的に共創し総合知を活用して業務を進められる高度専門人材
- 未来社会を想像しながら個人の高い専門性 + 共創で未来創造にチャレンジできる高度専門人材



シンクタンク等での  
専門業務



企業での共創型研究職



複雑な社会課題に取り組む  
国際・国家・地方公務員



博士課程への進学  
共創型研究の更なる高度化

# 教育課程の特色

一専攻内に共生社会創造領域と自然環境創造領域を設定する。  
学生は2領域のどちらかに属し、共創型研究の知識・スキルと  
自他の領域の専門科目を通して、文理融合で高度な専門を学べる

持続的ウェルビーイングに  
貢献できる高度な総合知の  
創造する知識とスキル

総合知創出科目  
共創型研究にもとづく  
総合知の創出

本研究科で獲得を目指す  
文理融合の知識とスキル

共創科学基礎科目  
共創型研究に関する  
高度な知識とスキル

文理  
融合

※共生社会と自然環境  
創造領域の両科目が必修

共創科学専門科目  
共生社会創造領域  
共生社会創造に関する  
高度な専門知識

共創科学専門科目  
自然環境創造領域  
自然環境創造に関する  
高度な専門知識

学生の主たる専門領域

## 共生社会創造領域

現代社会で進行する社会の分断・対立等のメカニズムや人間の健康・幸福についてを究明し、多様性の理解に基づく友好的・創造的な共生社会をデザインするための総合知を創造することのできるスキルと知識を併せ持つ高度な共創型人材

## 自然環境創造領域

環境科学、再生可能エネルギー、グリーンテクノロジーなど環境に関する専門的な知識の修得と新技術の創造により、持続可能性や地球環境への配慮を重視しながら組織や社会を変革するためのスキルと知識を併せ持つ高度な共創型人材

# 教育課程の特色

## ■総合知創出科目 (必修10単位)

- ・ 修士論文
- ・ グローバル共創科学特別研究 I・II (各4単位)
- ・ 共創コロキウム I・II (各1単位)

## ■選択科目 (7単位)

- ・ 共創科学基礎科目 (選択科目)、共創科学専門科目8単位を超えた分及び他研究科科目から7単位

持続的ウェルビーイングに  
貢献できる高度な総合知の  
創造する知識とスキル

総合知創出科目  
共創型研究にもとづく  
総合知の創出

共創科学基礎科目  
共創型研究に関する  
高度な知識とスキル

文理  
融合

## ■共創科学基礎科目 (必修科目4科目5単位)

- ・ ウェルビーイング科学特論 (2単位)
  - ・ 実践英語 I (1単位)
  - ・ データサイエンス・AI演習 (1単位)
  - ・ 共創デザイン論 (1単位)
- (選択科目)
- ・ 実践英語 II (1単位)
  - ・ データサイエンス・AI論 (1単位)
  - ・ インターンシップ (1単位)
  - ・ 海外研修 (2単位)

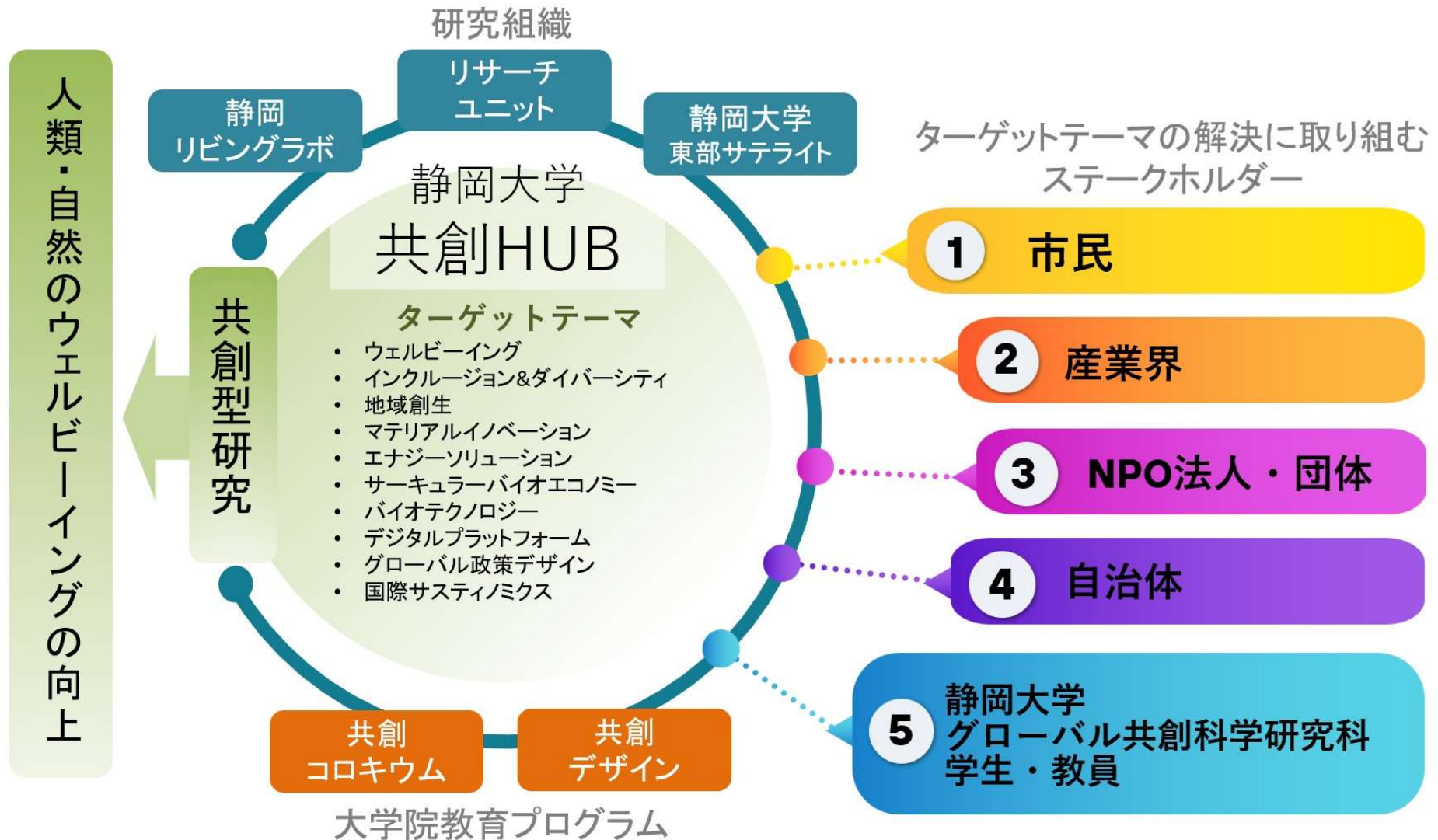
共創科学専門科目  
自然環境創造領域  
自然環境創造に関する  
高度な専門知識

共創科学専門科目  
共生社会創造領域  
共生社会創造に関する  
高度な専門知識

## ■共創科学専門科目 (共生社会創造領域・自然環境創造領域) (選択必修8単位 (自領域6単位 + 他領域2単位必修))

# 教育課程の特色

共創型研究の知識・スキルを身につけるための新たな共創推進組織  
静岡大学共創HUB→共創コロキウム・共創デザインの科目で活用



# 教育課程の編成

## ● 共創科学基礎科目（必修・選択）

- ✓ 現在・未来社会のウェルビーイングを共創するための高度な知識・スキルを修得
- ✓ 各領域の諸課題について多面的な視点から課題を見渡すことができ、高度な専門で創造されるソリューションに対して新しい価値を付加する知識を身につける。実際のソリューションの社会展開についての事例について学び実践力を身につける。

### ➤ 必修科目

- ◆ ウェルビーイング科学特論（2単位）
- ◆ 共創デザイン論（1単位）（ステークホルダーによる講義・演習）
- ◆ 実践英語Ⅰ（1単位） ◆ データサイエンス・AI演習（1単位）

### ➤ 選択科目

- ◆ 海外研修（2単位） ◆ 実践英語Ⅱ（1単位）
- ◆ インターンシップ（1単位） ◆ データサイエンス・AI論（1単位）

# 教育課程の編成

## ● 総合知創出科目（必修） = 10単位

### ◆ グローバル共創科学特別研究Ⅰ・Ⅱ（1・2年生通年）4単位×2

- ✓ 研究指導とゼミナール（通年4単位）
- ✓ 高度な総合知の創造及び社会展開に必要な知識とスキルを修得するための共創型研究の実施

### ◆ 「共創コロキウムⅠ・Ⅱ」（1年生前期後半，2年生前期後半）1単位×2

- ✓ 研究科内の様々な研究分野の研究者，学生，学外のステークホルダーらで，受講者の研究プロジェクトについてオープンな議論を行うコロキウム
- ✓ 受講者の研究プロジェクトでの総合知創出の共創過程に対して，様々な学問分野，ステークホルダーらの俯瞰的な視野で議論し，共創型研究の実践力を高める。

# 教育課程の編成

## ● 修士論文審査の方法

### ・ 基準

- ✓ 総単位数30単位以上の修得
- ✓ 専門とする学問分野において、新規性・独創性があり、共創型研究の遂行において専門家として関わるために必要な専門知識とスキルがあることを証明する論文であること。

### ・ 審査体制

- ✓ 審査は「研究科専任教員」の主査1名，副査2名以上で行う。
- ✓ 副査1名は、他領域の教員とする。
- ✓ なお，他研究科の専任教員も4人目以降の審査委員（副査）として選出可能とする。
- ✓ 審査は，主査・副査による論文審査委員会による査読と研究科内で開催する論文審査会（修論発表会）における，論文口述発表と質疑応答によって行う。論文の合否は研究科教授会において承認する。

# 教育課程の編成

## ● 新研究科専任教員（ゼミ指導担当教員）

共生社会創造領域 専任教員		
教授	池田 恵子	社会学
教授	祝原 豊	スポーツ科学
教授	杉山 康司	スポーツ科学
教授	須藤 智	心理学
教授	正木 祐史	法学
准教授	石川 宏之	建築計画学
准教授	坪井 秀次	イノベーション学
准教授	松澤 祐介	経済学
准教授	村田 真一	スポーツ科学
准教授	山本 好比古	文化・言語学
講師	太田 美帆	社会学
講師	立花 由美子	文化・芸術学
助教	満下 健太	心理学 (※研究指導補助)

自然環境創造領域 専任教員		
教授	崔 宰熏	天然物化学
教授	平井 浩文	環境生物化学
准教授	青木 憲治	材料科学
准教授	稲井 誠	物質創成化学
准教授	斉藤 俊貴	天体物理学
助教	小野 晶子	環境生物化学
助教	金 キョンミン	環境エネルギー工学
助教	村上 博紀	生命科学 植物・藻類生理学

# 教育課程の編成

## ● 共創科学専門科目（選択必修8単位以上）

- 専門講義＋演習（自領域から6単位以上、他領域から2単位以上）
  - ✓ 学士課程で学修した科目の深化・専門知を探究
  - ✓ 2領域（共生社会創造領域，自然環境創造領域）から計8単位以上を学ぶ。

共生社会創造領域 提供科目	
社会学	社会学特論・演習
建築計画学	建築計画学特論・演習
文化・芸術・言語学	文化・芸術学特論・演習 文化・言語学特論・演習
経済・経営学	経済・経営学特論・演習
イノベーション学	イノベーション学特論・演習
法学・倫理学	法学・倫理学特論 A B・演習 A B
心理学	心理学特論・演習
スポーツ科学	スポーツ科学特論 A B C・演習 A B C

自然環境創造領域 提供科目	
農学	環境生物化学特論・演習 天然物化学特論・演習
理学	生命科学特論、植物・藻類生理学演習 天体物理学特論・演習
工学	材料科学特論・演習 環境エネルギー工学特論・演習 物質創成科学特論・演習
共通	グローバル共創科学特別実験 I II

- 教育方法
  - ✓ 提出された研究計画書をもとに主指導・副指導教員を決定します。
- 履修指導の方法
  - ✓ 履修指導は，主指導教員によって行います。
- 研究指導の方法
  - ✓ 主指導教員及び副指導教員は「研究科専任教員」より選出します。
- 修了要件
  - ✓ 必要な単位数（30）単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査に合格することとします。

# アドミッション・ポリシー

## ◆ 育てる人間像

我々が現在・未来の世界で直面する課題の解決に、高度な人文社会科学及び自然科学の専門的知識とスキルをもって取り組み、グローバル社会と地域社会のつながりを踏まえて新しい価値を持った解決策を提示し、課題の解決に企業・行政・市民・他分野の研究者と協働して取り組む共創型研究を主導できる知識とスキルを持った高度な共創型人材を育成します。また、未来社会の課題を的確に捉え、持続可能なウェルビーイングに貢献できる新しい価値をもった総合知を創造できる人材を育成します。

## ◆ 目指す教育

人文・社会科学から自然科学に至る幅広い知を繋げることを通して、複眼的観点から社会的課題を的確に捉え「総合知」を活用し、現在・未来社会の課題解決に取り組む人材を育成します。そのために、課題解決に必要な広汎かつ高度な専門知識及び異分野の人材と深く連携して多様な背景をもつ人々と協働する能力を身につけます。また、新しい社会の価値や仕組みを構想できる人材を育成するため、基本的な知識・技能として、実践的な外国語（特に英語）と応用レベルの数理・データサイエンスの能力と技能を養います。

# アドミッション・ポリシー

## ◆ 求める学生像

地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、人文社会科学、自然科学の高度な専門知識に基づく共創で様々な社会的課題の解決に取り組み、より良い未来社会の実現に貢献することに意欲のある学生を期待します。また、学修内容の指向性としては、文系と理系の双方を含む幅広い分野への興味をもっていること、外国語によるコミュニケーションへ意欲をもっていることを求めています。

## ◆ 入学に必要なとされる資質・能力

高度な人文・社会科学分野から自然科学分野に至る幅広い分野を学ぶことになるため、文系と理系を含めた様々な分野を学習し、幅広い基礎的知識と志望する領域（共生社会創造領域又は自然環境創造領域）における専門知識を有し、共創型研究に対する強い意欲を持って入学後に勉学及び研究活動を遂行しうる能力を有していることが必要です。このため、研究活動に必要な基礎学力を判断する専門科目の口頭試問、研究意欲や共創・協働する力を判断する面接試験及び外部英語試験による英語力の評価を行います。

# アドミッション・ポリシー

## ◆ 入学者選抜の基本方針

現代社会とポストSDGsの未来社会で「持続可能な一人ひとりの多様な幸せ（well-being）の達成」に貢献できる新しい価値を持つ高度な総合知を共創型研究で創造でき、課題解決の場においてリーダーシップを発揮し主導できる高度な共創型人材の育成を目指し、入学後の勉学と研究活動を遂行しうる能力及び学力について、以下の各試験で判断します。

### 《一般入試》

#### (1) 選抜方法

①学力試験：口頭試問、外部英語試験による英語力

②面接試験

※口頭試問、面接試験の参考資料として研究計画書の提出を求めます。

# アドミッション・ポリシー

## ◆ 入学者選抜の基本方針

### 《一般入試》

#### (2) 判定方法

- ① 学力試験、面接試験の得点を総合して、高得点の者から順に選抜します。
- ② 以下のいずれかに該当する場合は不合格とします。
  - i . 学力試験の得点が50%に満たない場合
  - ii . 面接試験の得点が50%に満たない場合
- ③ 出願書類は、口頭試問、面接試験の評価の基礎資料として活用します。

# アドミッション・ポリシー

## ◆ 入学者選抜の基本方針

### 《自己推薦型入試》

#### (一次選抜)

入学願書、成績証明書及び自己推薦書について総合的に判断し、『二次選抜受験有資格者』を決定します。

#### (二次選抜)

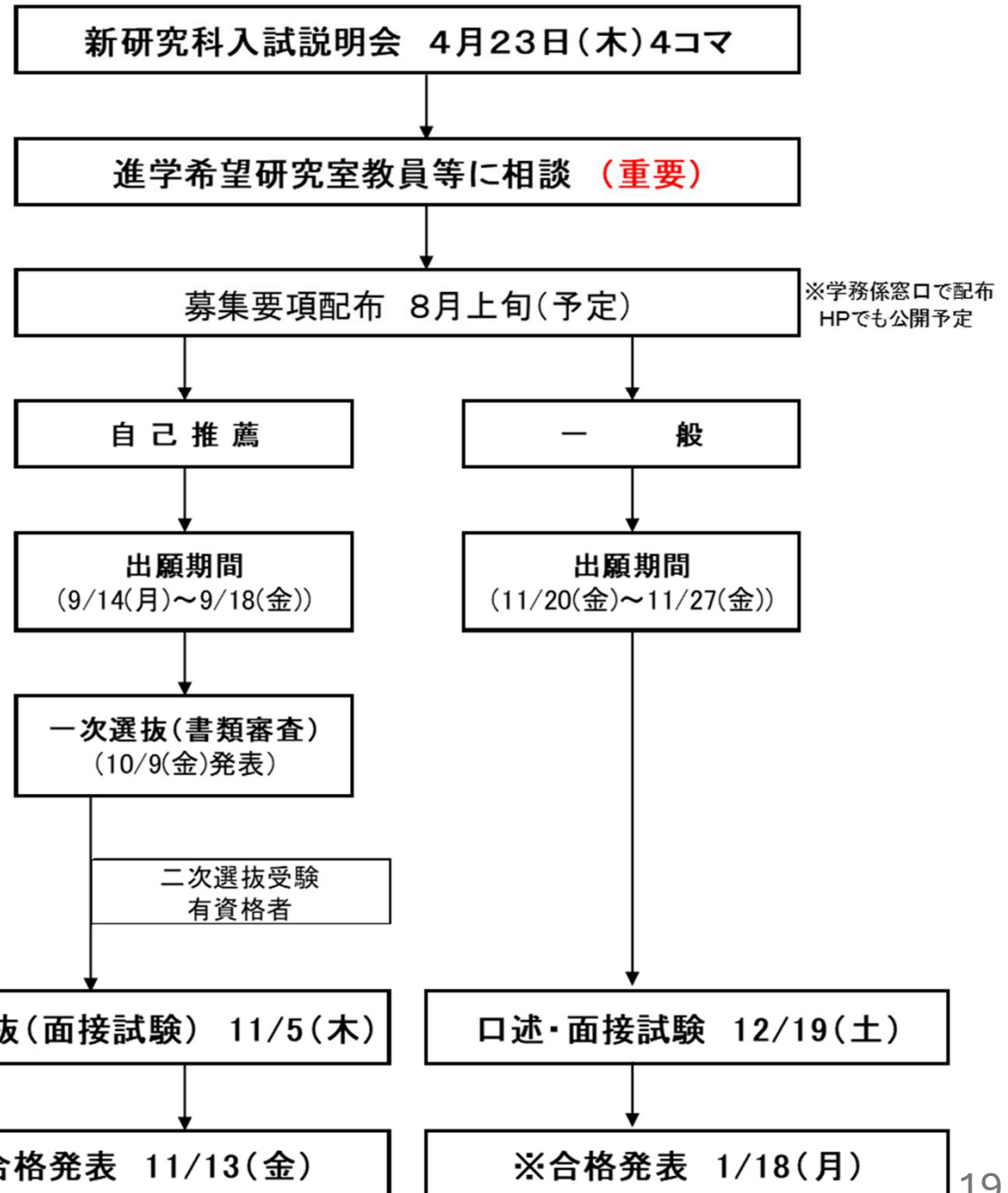
『二次選抜受験有資格者』に対し、面接試験を行います。面接では、志望動機、将来の目標、意欲などの学習・研究に対する態度、基礎的な学力、論理的思考力、表現力などを総合的に判断します。

# 自己推薦 & 一般入試 募集人員・日程（予定）

## 募集人員

選抜方式	募集人員
自己推薦型	6名
一般	6名
合計	12名

入試日程（案）  
（今後変更の可能性があります）



---

新研究科の概要及び入試説明は以上です。

---